



北陸地方整備局では、工事等の安全を確保することを目的に毎年9月の第4週を「北陸地方整備局 建設労働災害防止週間」と定め、建設労働災害撲滅に向け工事関係者の安全に対する意識向上を図っています。その一環として、「第35回 立山砂防事務所建設労働災害防止大会」を開催し、関係者113名が参加して「建設労働災害ゼロの達成」を目指した取り組みを実践・強化していくことを確認しました。

開催日：令和5年9月25日（月）10：00～12：00
場所：ホテル 森の風立山
主催：国土交通省北陸地方整備局
立山砂防事務所工事安全対策協議会
参加者：工事等受注者の現場責任者及び安全管理担当者、
立山砂防事務所関係職員及び現場技術員等
113名（来賓：富山労働基準監督署長、魚津労働基準監督署長、
富山県富山南警察署長、富山県上市警察署長含む）

協議会長挨拶



立山砂防事務所長

来賓挨拶



魚津労働基準監督署長



富山県富山南警察署長

地区協議会活動報告

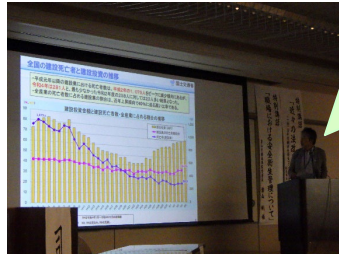


千寿ヶ原地区
（保全対策官（工事））



水谷地区
（水谷出張所長）

北陸地方整備局管内の
事故発生状況について



立山砂防事務所 副所長（技術）

作業員の思い込みによる自己判断や危険性に関する認識の甘さから多くの事故が発生している。事故防止の措置を講じるほか、作業員に対する指導等で安全意識の向上が必要。

特別
講話
「職場における安全
衛生管理について」



富山労働基準監督署
署長 栗山剛 氏

「合図の徹底」は労働災害発生を防止するために大きな意味があり、形骸化すると重大災害が発生する。
ヒューマンエラーはいつ自分に襲い掛かるかわからない。多くの事例を通して、リスクに対する感性を高めよう。

安全宣言採択



建設労働災害ゼロの達成を目指し「安全宣言」が採択された

工事受注者 現場代理人代表 十文字拓人 氏

会場の様子



特別
講話
「近々の法改正（概要）」



労働安全コンサルタント
高嶋敏秀 氏

4月の法改正により、一人親方等の保護措置の義務化や、足場からの墜落防止措置強化などが変更になった。
時代に合わせて更新されていく法律に対し、各事業者は規定を順守し努力をする必要がある。